

幼児の自然体験型環境学習プログラム

森・山

プログラム名	木も一緒に遊ぼうよ！！	
対象年齢	5歳児	
メッセージ	動いていない木も自分と同じように生長（成長）しているんだ！ということに気づく	
ねらい 発見・体感 できること	木の形、感触、大きさ、音、においなど木の違いに気づく	
参加者のめやす	幼児 21人	／ 支援者 3人
実施時間	30分	
フィールド		
実施可能時期		
自然を感じるためのヒント		
時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
0:00	<p>「木との出会い」 ・お気に入りの木を探そう！（2人組です）</p> <p>・木で遊んでみよう！</p> <p>・4人組で探してみよう！（5グループ）</p> <p>・木の紹介をしよう！グループごとに紹介する</p> <p>・2本の木を囲めるかな？4人で仲良しの木を探す</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大きな木のところで「見る、聞く、触る、におう」を伝える。（大小、高低、太細、葉、木の幹の様子を話す） 手をつないできた友だちとお気に入りの1本を探す。 広がった状態で話す。 1本の木を挟んで、にらめっこをする。 2人組から4人組になったら真ん中に集まる。 「4人で囲める木を探してみよう！」と話す どんな木を見つけたのか紹介して欲しいことを知らせておく。 離れている友だちにも聞こえるように言ってもらおう。 みんなが決めた木と仲良しの木（決めた木の近くにある木）がいるか問いかける。 4人で囲めなかったら、他のグループに助けてもらい、人数が増えることで囲めることに気づく。

年中



時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
0:10	<p>男女4チームに分かれる。 ・男女対抗 「木を何本囲めるかな？」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 集まってから話す。 4人で囲んでみて、人数が増えたら何本囲めるのか問いかけ、2チームで木を囲うことを提案する。 人数調整でトラブルが起きた時は、支援者も参加する。 どこの木を囲むのか、言い合いになった時は、どちらも試してみて、納得して木を囲めるようにする。 時間がかかりそうな時は、カウントダウンをする。 「もっとたくさんの木囲めへんかな〜？」と子どもから「みんなで囲もう！」という言葉が出てくるよう促してみる。 自然な流れで協力したら、たくさん囲めたという気持ちが持てるようにする。
0:25	<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 手をつないだまま、その場に座り、まとめをする。 「木と遊んで楽しかったね！みんなが木の声を聞いたように、木もみんなの声を聞いていたし、見ていたよ！」 木を見て、子どもの木、大人の木があることを知らせ、動いていないけど木も生長するし、みんなと同じように生きていることを伝える。
0:30	<p>【園や家庭へ帰ってから】</p> <ul style="list-style-type: none"> 園庭の木の名前を調べ、種類などを知る。 園庭の木を囲んで、一番太い木を探す。 季節ごとの木のマップをつくる。 親子でプログラム地に行き、木のおいや感触を楽しむ。 家で木でできたものを探してもらおう。 	
準備物・教材等		

